

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こころねキッズ		公表日		2025年3月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	十分にスペースとれている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	9	1	保育士、指導員、リハ職、看護師等各職種を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	必要な空間を確保している。障害用トイレ、エレベーターなど設置している。感染予防で次亜塩素酸の自動噴霧器を設置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	必要に応じてパーティションで空間を仕切ることができる。こどもの活動に合わせて活動の場を作っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	個別の部屋があり必要によっては使用できる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	半年に1回実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	集計後に職員会議で共有し具体策を検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎日の申し送りや職員会議等で話し合っている。また、適宜話し合いにて問題解決に取り組んでいる。	引き続き継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8	外部評価は行ってない。相談支援など客観的に意見をもらっている。	第三者の外部評価導入を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	年間スケジュールに沿って法人研修を行っている。また、外部研修も適宜参加している。	法人内で研修会を行い全職員参加できる体制を作っているため引き続き継続していく。研修の内容を深めていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	支援プログラムの内容は職員会議や申し送り等で伝達している。	引き続き継続していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	面談等で保護者の困り感や家庭での状況を聞き取り利用時の状況を職員会議等で情報共有したり学校の先生からの聞き取りを行っている。	引き続き継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	児童発達支援管理責任者が主体となり各職員と子供の支援について検討を行っている。	引き続き継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	職員会議や申し送り等で共有している。また、職員が閲覧できるようにしている。	引き続き継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2	ガイドラインに沿って具体的に支援内容を作成している。	今後も内容を深めていきたい。引き続き継続していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	各プログラムにリーダーを置いてそのリーダーを中心に職員全員で立案している。	引き続き継続していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2	毎月プログラムの立案を行っている。	引き続き継続していく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	2	計画書の中で個別活動と集団活動を作成している。	引き続き継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	計画書やタイムスケジュールを画面等で配布し朝礼等で情報共有している。月～木（放課後）は翌日の朝礼、金（放課後）当日の終礼、学校休校日は当日の終礼等に行っている	引き続き継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	毎日申し送りや振り返りを行っている。	引き続き継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	毎日支援記録を記入している。	引き続き継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	6カ月に1回モニタリング実施。同時に保護者面談も行っている。	引き続き継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	組み合わせで行っている。	引き続き継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	自己決定できるようにしている。	今後も工夫していきたい。継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	サービス担当者会議などに理解した職員が参画している。	引き続き継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	連携している。	引き続き継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	学校との連携や情報共有など直接連携したり保護者を通じて連携したと場面にあった連携を行っている。	引き続き情報共有を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	評価や訓練内容、日常生活の状況など書面でいただいている。	引き続き情報共有を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	連携会議等で書面で情報の提供を行っている。	引き続き情報共有を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	こども部会やハートセンターの専門職から助言を受けたりしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	他の事業所と交流会を行っている。	交流機会がなかなか持てないため工夫しながら交流の場を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	管理者、児童発達支援管理責任者がコアメンバーで活動している。部会にも参加している。	引き続き継続していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	連絡帳の活用、送迎時に状況を伝えている。また、必要に応じ電話やLINE、訪問している。	引き続き継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	必要時は外部に依頼するなどしている。	家族会や家族向けの研修会など開催していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	利用前に面談を行い丁寧に説明している。	引き続き継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2	面談を行い意向の確認している。	引き続き継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	説明し同意を得ている。	引き続き継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	悩み事について適切に相談を受けている。電話や面談を行っている。	引き続き継続していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	作品展などを通じて保護者会を開催し交流の場を設けている。	保護者の意向を確認しながら交流できる場を設けていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	そのような場合があったら迅速に対応する。	引き続き継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	定期的に行事予定などを書面で伝えている。	情報を発信していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	入職時に個人情報の取り扱いについての説明を行っている。十分に留意している。	引き続き継続していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		引き続き継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	夏祭りや作品展など法人内の高齢者や障害者を招待している。地域住民への声掛けは一部行っている。	積極的に地域住民を招待していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	マニュアルの作成を行い閲覧できるようにしている。定期的な訓練等を実施している。	引き続き継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	マニュアルや計画を策定し定期的に訓練を行っている。	引き続き継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	利用開始前に聞き取り行っており必要であれば書面で指示書をお願いしている。	引き続き継続していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	利用開始前に保護者よりヒアリングしている。	引き続き継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	マニュアルや計画を策定し定期的に研修や訓練を行っている。	引き続き継続していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	閲覧できるようにしている。	引き続き継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	定期的に共有している。	引き続き継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	法人研修、事業所研修、外部研修等に参加している。	引き続き継続していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	身体拘束の実績なし。利用前の面談時に説明している。	引き続き継続していく。	